



「新型コロナウィルス禍の下での持続可能な発展 のための教育の推進」

主 催 日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 持続可能な発展
のための教育と人材育成の推進分科会

後 援 地理学連携機構

日 時 2020年9月5日（土）14:00～17:00

場 所 Zoomによるオンライン会議です

申 込 参加費無料。中学生以上ならどなたでも参加できます。9月3日までにお申し込みください。

日本学術会議の『学術の動向』2020年7月号に特集「学校教育とESD・SDGs・フューチャー・アース」が掲載されました。これは学校教育の現場と学術コミュニティとの連携の成果であり、持続可能な発展のための教育についての最新の知見と情報を紹介していますが、原稿執筆の時期がコロナ禍の初期段階に重なり、それを踏まえた議論をするには至りませんでした。しかし我が国でもコロナ禍は社会に甚大なダメージと様々な影響を与えており、持続可能な世界の実現に向けた諸活動にも、それをできる限り正確かつ的確に把握し、各々の立ち位置と課題を再確認し、進むべき道を見極めることが求められています。それらの課題について、上記特集の執筆者の報告をたたき台として、オンライン会議ツールのZoomを用いて多角的に議論し、そして共に考えましょう。

プログラム

総合司会：鈴木康弘（日本学術会議連携会員、名古屋大学減災連携研究センター教授）

14:00～14:10 開会挨拶、趣旨説明

　　氷見山幸夫（日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授）

14:10～14:25 「コロナ禍を踏まえたESD/SDGsの新たな展開」

　　鈴木克徳（持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）理事）

14:25～14:40 「コロナ禍を踏まえたESD/SDGsを実践する視点と戦略」

　　及川幸彦（東京大学海洋教育センター主幹研究員）

14:40～14:55 「コロナ禍を踏まえた小学校におけるESD/SDGs授業実践」

　　佐々木哲弥（東京都杉並区立西田小学校研究主任）

14:55～15:10 「コロナ禍を踏まえた食の教育」

　　小金澤孝昭（日本学術会議特任連携会員、宮城教育大学名誉教授）

15:10～15:25 「コロナ禍とスーパーグローバルハイスクール」（SGH）

　　磯谷 宗隆（玉川学園教諭（高校公民・中学社会））

15:25～15:35 休憩

15:35～15:50 「コロナ禍を踏まえた海洋教育における教材開発」

　　日置 光久（日本学術会議連携会員、東京大学海洋教育センター特任教授）

　　丹羽 淑博（東京大学海洋教育センター特任准教授）

15:50～16:05 「コロナ禍を踏まえたマイ・ウニ飼育からの海の学び」

　　小川 博久（千葉県君津市立北子安小学校校長）

16:05～16:55 ディスカッション

司会：山口しのぶ（日本学術会議連携会員、東京工業大学学術情報センター教授）

コメントーター：小松輝久（日本学術会議特任連携会員、公益社団法人日本水産資源保護協会技術顧問）

　　福士謙介（日本学術会議連携会員、東京大学未来ビジョン研究センター教授）

16:55～17:00 閉会挨拶

　　花木啓祐（日本学術会議連携会員、東洋大学情報連携学部教授）

問い合わせ・参加申し込み先：鈴木康弘（名古屋大学減災連携研究センター）

E-mail: resilience.nagoya@gmail.com Tel:052-788-6037

（背景：北海道中富良野町ファーム富田 2020.7）